

〔基本形〕

作詞・作曲不詳



ちいさな焔を



たがやして



ちいさな種をまきました



1. ちいさなはたけを
  2. ちゅうくらいのはたけを
  3. おおきなはたけを
- たがやして



ちいさなたねを  
ちゅうくらいなたねを  
おおきなたねを

まきました ぐんぐんそだって



はるがきて

ちいさなはなが  
ちゅうくらいのはなが  
おおきなはなが

さきました

ホッ  
ポッ  
ポッ

東京では終りのところを下の譜のように歌っています。



はるになり〜 ちいさなはなが さきました ホ

ちいさな焔

57



ぐんぐんそだって



春がきて



ちいさな花が咲きました



ホッ!

ポイント この歌のおもしろさは、そのヴァリエーションにあります。  
小さな焔とくれば、当然、中っくらい、大きなと続くわけですね。  
ところが、そんな大きさをとやかに言うだけじゃなくて、「いじけた焔」「つっぱった焔」「元気な焔」などなど、おもいっきり形容してみてください。

〔ヴァリエーション〕



つっぱった焔を



たがやして



つっぱった種をまきました



ピンピンそだって



春がきて



つっぱった花が咲きました



ピッ!